

ちいき 地域のみなさんへ

はるがそこまで近づき、木々のつぼみがふくらみはじめました。私たちの願いも、地域のみなさんの支援の動きとともにふくらんできていますことを、心からうれしく思っております。みなさんから届く声は、百人力を得たような気持ちになります。

平成19年度中の予算執行は残念ながら実現しませんでした。しかし名古屋市からは「あきらめてはいない。こうした施設は必要なので必ず作りたい」との説明を受けています。そして平成20年度の補正予算に必ずあげられるようめざしております。

私たちは、みなさんのご理解をいただけますよう地道に、そして、このチラシ「地域とともに」の中で障害者に対するご支援や誰もが安心して暮らせる地域をみなさまと一緒に創っていけるよう呼びかけてまいります。

地域の中で困ったときに支え合えるよう、ともに生きていける街となるよう、セミナーの開催を通して、みなさまと共に考える機会としたいと願っております。

ちいきふくし 地域福祉セミナーを開催します

AJU自立の家では、地域の支援者と外部の障害者団体の協力により、「ともに生きる地域福祉を考える」をテーマに、4月から3回にわたって地域福祉セミナーを開催いたします。

このセミナーは障害のある人もない人も、高齢者も、誰もが、住み慣れた地域でよりよい人生を送るためにどうしたらよいか、また、当事者と地域のみなさんが協力して「ともに生きる社会」をどのように実現していくか、みなさんと一緒に考えたいと企画いたしました。

第1回 とともに生きる社会と地域の安全・安心

とき	平成20年4月26日(土) 13:30~16:30
ところ	高齢者就業支援センター 大会議室(5F)
内容	基調講演「共に生きる社会を創る」中田 實氏(愛知江南短期大学学長)
シンポジウム	曾田忠宏氏(名古屋市福祉のまちづくり推進委員会委員長)、 高間睦氏(中日新聞記者)、名古屋市健康福祉局
コメンテーター	中田 實氏(愛知江南短期大学学長)
司会	伊藤葉子氏(中京大学講師)
定員	180人
参加費	200円(資料代)
主催	福祉施設を考える会、愛知県重度障害者団体連絡協議会、AJU自立の家
後援	名古屋市、名古屋市社会福祉協議会、昭和区社会福祉協議会

第2回 障害者と共に生きる社会(仮題)

とき	平成20年5月17日(土) 13:30~
ところ	昭和区在宅サービスセンター(昭和区社会福祉協議会) 研修室

第3回 昭和区の福祉まつりシンポジウム

とき	平成20年6月29日(日) 13:00~
ところ	昭和区役所講堂

みぢか ひと いのち まも
身近な人の命を守る



「AEDと救急救命セミナー」開催しました

3月8日にカトリック恵方町教会にて「AEDと救急救命セミナー」が行われました。このセミナーはAEDを地域住民の方に広く知っていただくとともに、いざというときのためにその使用方法と救急救命の基礎を地域住民の方と共にマスターしようとするを目的に福祉施設を考える会(会長 本山政雄氏)とAJU自立の家が合同で開催しました。

当日は定員の15名の地域の方々にご参加いただき、昭和消防署の4人の隊員の方々から講習を受け、参加者は真剣に取り組んでいました。

はじめに心室細動とは何か、愛・地球博でのAEDの活用、具体的な対処方法等を映像や教本で確認し、次に3体の人体模型を使用し、初動の声かけ、気道確保、心臓マッサージ、AEDの使用と不測の事態を想定した講習が行われました。

はじめは意思確認のかけ声が小さかったり、周りの人への声かけを忘れてたり、気道の確保がなかなか出来なかったりして、焦ってしまう様子が見えましたが、繰り返し行うことで動作が的確に出来るようになってきました。その顔は自信とも見える眼差しでした。

隊員からの指示にある時は緊張し、ある時は笑顔もこぼれ、途中で緊急指令が入り、隊員の3名が出動する事態もありましたが適切な指導と参加者の協力により、あっという間に3時間あまりが過ぎました。指導隊員より修了書の授与



があり、参加者は修了書を手に取り救急救命セミナー終了の満足感を味わっていました。

「AEDと救急救命セミナー」開催しました

最後に福祉施設を考える会事務局長の舟橋さんから「今回、地域の人に参加してもらって、セミナーができた。施設や社会資源を活用して頂く機会を持ってよかった。AJUの協力のもと、今後も続けていきたいと思います。今、新施設建設について、いろいろ話題になっていますが、『共生』という言葉があるが、精神やいろんな障害をもった人たちも一緒に、共に生きる社会になったらいいと思います。」と結び、AEDと救急救命セミナーを終了しました。

参加者の声

この講習ではじめてAEDを操作しました。もしこの講習を受けていなかったら、人が倒れていても慌てるだけで、どうしたらいいかわからないと思います。誰かの命が救われるということは、その人だけでなく、その人の家族や周りの人たちも救われるということだと思います。こういう機会をもっと増やしてくり返し訓練し、一人でも多くの方がAEDや心肺蘇生のやり方を覚えて、「ありがとう」の涙が増えるといいなと思いました。ご指導、ありがとうございます。(30代女性)

私は車いすを使用しているので、どこまで実習が受けられるのか不安でしたがAEDと人形を使い実際のケースを想定しての実技では緊張感の大変漂う時間となり緊急時には車いすである事もあまり関係はないという雰囲気になりました。災害は誰にでも起こりうる事なので、もしもの時は誰でも身近な人の為に自分の出来る事をなんでもいから必ずしなくてはならないと思いました。最後に地域の方が、「今回のように地域のための講習を地域の施設で開く事に意義がある」と言っていたのが印象的でした。(40代男性)

ほうむきょく うご 法務局の動きご存じですか？

しせつけんせつはんたい じんけんもんだい
施設建設反対ポスターと人権問題

さくねん がつ にち きたがわ みなみがわ みちぞ
昨年2月25日、サマリアハウスの北側と南側の道沿
いの住宅に、施設建設反対のポスターが貼られました。
さび かな
寂しくも悲しいできごとです。

しょうがい も しょうがい みる たび ころこ いた
障害を持った人がポスターを見るたびに心を痛めて
いました。地域に住む障害者自身が施設建設反対ポスター
を外していただくように各家々にお問い合わせにいたしました
が聞き入れられることはありませんでした。

ころこ いた しょうがいしゃ しょうがいしゃさべつ いちにち はやくてつきよ いただ さくねん がつ にち
心を痛めた障害者たちは「障害者差別だから一日も早く撤去して頂きたい」と昨年6月29日に
名古屋法務局に自ら訴えました。障害者のいる家族は「私たちはこの地域に住んではいけないの？ 出
ていけよということなの？」と涙が止まらなかったそうです。

ほうむきょく じんけんしんがい うたが じんけんようごぶ がつ 7月ごろに きき と げんちちょうさ
法務局は「人権侵害の疑いがある」として、人権擁護部から7月ごろに聞き取りと現地調査がありま
した。そして、今年1月24日法務局人権擁護部から「地域に掲示してある建設反対のポスターについて
は人権侵害の疑いがある」「啓発という指導を町内会に行います」という連絡がAJUにありました。

ちょうないかい こうい たい くに きかん しどう しょうがいしゃ よわ たちば ひと はいりょ
町内会の行為に対して国の機関から指導が入り、障害者など弱い立場の人たちへの配慮がうながさ
れたことは、少なくとも障害者にとって一歩前進となりました。

これでポスターがはずされ、障害者自身や障害者のいる家族の方々の心の痛みが少しでもやわらぐ
と胸をなでおろしました。ところが、いまだにポスターを貼っている住宅の方は人権擁護部からの通達
がないのでしょうか。その通達に気づいていないのかわかりませんが現在もポスターは貼られたままで
す。



おしらせ

たきのうがたふくししせつ いっしょ かんが 多機能型福祉施設を一緒に考えませんか

ちいきじゅうみん かた たきのうがたふくししせつもんだい はんたい ひと さんせい ひと いっしょ かんが
地域住民の方から、多機能型福祉施設問題について、反対の人も、賛成の人も一緒に考えまし
ようという動きが起こっています。福祉施設を考える会(会長 本山政雄さん)から地域説明会の開催
の案内が届きましたのでお知らせします。

にちじ がつ にち か し ぶん うけつけ し ぶん
日時 3月25日(火)19時~20時30分(受付18時30分)

かいじょう しょうわくしやうがいがくしゅう しちょうかくしつ
会場 昭和区生涯学習センター 視聴覚室

ないよう なごやし じりつ いえ しせつけんせつ せつめい しょうがいしゃ はつげん じゅう はな あ
内容 名古屋市、自立の家による施設建設の説明。障害者の発言、自由な話し合い。

しゅさい ふくししせつ かんが かい TEL/FAX 052-731-2749 (舟橋)
主催 福祉施設を考える会

せいしんほけんふくしこうえんかい

精神保健福祉講演会のおしらせ

ちいきしゃかい あんしん く ~地域社会で安心して暮らしていくために~

近年の精神医学の進歩により、多数の当事者が地域で暮らすことが可能になってきました。しかし、病気に対する誤解や偏見等により『地域で自分らしく』暮らせないことが多いのも事実です。この講演会では当事者の講演を通して、どうしたら障害のある私たちが、地域の人々とともに地域社会で暮らすことができるのかを考えていきます。

日時 3月23日(日) 13:00~16:00

場所 AJU自立の家サマリアハウス

名古屋市昭和区恵方町2-15 TEL 052-841-5554

企画・主催 名古屋うつ病友の会事務局 (伊藤)

TEL/FAX 0565-31-9067 携帯 090-1788-0411

後援 NPO法人 草のネット、社会福祉法人AJU自立の家

助成 NPO法人 全国精神障害者団体連合会(日本財団)



ひとりくるで苦しんでいませんか？

名古屋うつ病友の会では、毎月、昭和区恵方町のサマリアハウスにて定例会を開催しています。定例会では、自分の症状や近況を話したり、他人の症状や悩みを聞くことによって、自分だけがこの病気で苦しんでいるのではないと自覚し、仲間との交流をもつことで、孤独から開放されるような取り組みを行っています。ぜひ、ご参加ください。

また、不定期ですが、精神科医、精神保健福祉士、ケースワーカー、臨床心理士等の専門家による話し合いなどを行っています。

開催日 毎月、原則第1日曜日の13:00~16:00

場所 AJU自立の家サマリアハウス

昭和区恵方町2-15 TEL 052-841-5554

会費 1回につき500円(通信費、資料代、講師依頼費などとして)

問い合わせ・申込 名古屋うつ病友の会 代表 伊藤訓之

TEL/FAX 0565-31-9067 携帯 090-1788-0411

社会福祉法人AJU自立の家

常務理事 山田昭義

施設準備室 鬼頭義徳、小山秀隆

名古屋市昭和区恵方町2-15

TEL 841-5554

FAX 841-2221

info@aju-cil.com

おまちして
おります。

